

# 日本生殖看護学会ニュースレター

Japanese Society of Fertility Nursing (JSFN)

No.36

## 目次

・特集：第11回日本生殖看護学会学術集会	1
・平成25年度日本生殖看護学会総会報告	3
・平成25年度事業計画	3
・平成25年度予算案	4
・第9回生殖看護実践セミナー開催報告	5
・これから行われる学会・研修会情報	6
・関東地区勉強会開催報告	6
・勉強会開催のお知らせ	6
・もし不妊看護の現場で行き詰ったら	7
・理事会報告	7
・掲示板	7
・学会誌への投稿原稿募集	8
・事務局からのお知らせ	8

### 特集：第11回日本生殖看護学会学術集会報告



#### 「生殖看護における不妊専門相談センターの活用と連携」

学術集会長 矢野 恵子 (明治国際医療大学)

本年9月1日(日)に、京都市西京区のホテル京都エミナース・明治アニバーサリーホールにて、第11回日本生殖看護学会学術集会を開催させて頂きました。台風や大雨が心配される中、全国から合計218名もの皆様にご参加いただけましたことを、心より感謝いたします。



今回は、全国展開されている公的な不妊相談システムである不妊専門相談センターを、テーマに取り上げさせて頂きました。基調講演でもお話しがありましたが、現在60か所ある全国のセンターでは、数多くの看護職の皆様が様々な職種の人々と連携しつつ活動しておられますが、それぞれのセンターで活動内容やシステムは異なります。アンケート結果からも、今回の学術集會をきっかけとしてセンター活動の実際を知って下さった参加者の方もおられ、主催者としてもセンター活動を今後活用・連携して頂くひとつのきっかけとなったのではないかと考えております。また、昼休みに企画した「不妊専門相談センター活動に関する昼休みミーティング」は、短時間ではありましたが貴重な情報交換の場となりました。ご参加頂いた皆様、本当にありがとうございました。教育講演「不妊治療領域における鍼灸治療の実際」と連動して実施した、附属統合医療センターの施設見学会および鍼灸治療の実際見学会にも多くの皆様のご参加を頂き、大変嬉しく思います。東洋医学や統合医療との連携は、今後の課題の一つだと考えておりますが、ご案内したスタッフも看護職の皆様の熱心さに感激しておりました。シンポジウムでは、看護職と他職種とのセンター活動における連携を取り上げましたが、実情はもっと多くの職種の方が関わっておられる事と思います。行き届かなかった点多々ありました。この場を借りてお詫び申し上げます。

次年度は、お隣の大阪府での開催となります。また皆様とお会いできますよう。

## ◻◻◻ 「第11回日本生殖看護学会学術集會に参加して」 ◻◻◻

不妊症看護認定看護師 神戸研修センター2期生 宮前 まゆみ

第11回日本生殖看護学会学術集會のテーマは「生殖看護における不妊専門相談センターの活用と連携」でした。「健やか親子21」においてすべての都道府県に不妊専門センターが設置されました。今回の学会では全国60か所の医師や心理カウンセラーとともに看護職が実際にどのように相談者にかかわりサポートしているかを知ることができました。そして、相談者がその支援に満足し次のステップアップに進んだり目標を見直したり、また治療への継続につながるような支援を受けていることも理解できました。

電話相談やメール相談では、対象者の顔が見えません。対象者が一番知りたいこと、一番気になること、一番教えてほしいことは何かを即座に察知し、対応することでこの事業の継続していくことの意義があると思えました。ただし、時間をかければいいというものではなくそこが電話相談、メール相談の限界でありやはり面接相談の必要性も感じました。

基調講演においては、実際のデータを詳細に明示され、特にメールでの返答においては医師の確認、了解のもとで正しい情報提供をすることの大切さを知りました。教育講演においては鍼灸治療の実際を知ることができました。不妊治療だけでなく健康増進という点において今後の活躍と更なる報告も興味のある点でした。シンポジウムにおいては行政の立場・医師・心理職・看護職それぞれの立場からの不妊専門相談センター活動についての意見を聞くことができました。特に医師の立場からの私たち看護職に対する、「命の大切さを理解し健康な家族を形成してもらえるような相談活動への期待」も多くあることを知りました。

各々のセンターの工夫された日々の地道な活動が、今後の不妊症患者への心の支援となるように、今回のような各々のセンターの現状報告も必要であると考えます。私自身も努力していきたいと思えました。

## ☆☆平成25年 日本生殖看護学会総会報告☆☆

日時：平成25年9月1日（日）13：03～13：35

会場：京都エミナース 明治アニバーサリーホール

出席：会場出席者名26名、委任状126通  
（本学会則第18条により総会成立）

議長：上澤理事（副理事長）

### 【報告事項】

1. 理事会報告（野澤理事長）：平成24年度に開催された10回の理事会報告。
2. 総務（森明理事）：平成25年8月の会員数328名。会員管理、関連団体・機関への対応、学会ホームページの運営と管理、新封筒の作成を報告。
3. 各委員会事業報告（平成24年9月1日～平成25年8月31日）
  - 1) 実践開発委員会（橋村理事）：会員に対する看護相談対応、不妊症看護認定看護師の継続教育支援活動、今後の会員サポートのあり方検討、Fine祭の後援を報告。
  - 2) 教育推進委員会（森恵理事）：勉強会のサポート、生殖看護実践セミナー開催（第8回、第9回）、勉強会等助成要項の作成とHPへの掲載を報告。
  - 3) 広報委員会（實崎理事）：ニュースレター33～35号と10周年記念号の企画・編集および発行、HPへのニュースレターの掲載、学会PR活動を報告。
  - 4) 編集委員会（村本理事）：学会誌第10巻第1号発行の編集活動、学会誌の発行スケジュールの見直し、外部査読者の選任と依頼を報告。
  - 5) 将来検討委員会（有森理事）：国内外の情報

収集と発信、研究助成の運営・管理、研究促進活動として勉強会の企画を報告。

- 6) 看保連対応ワーキンググループ（清水理事）：不妊症看護認定看護師に関する実態調査の実施・報告、看保連における本会所属先として「診療報酬及び介護報酬体系の在り方に関する検討委員会」への変更および要望書「不妊症患者外来相談料の算定」提出を報告。
- 7) 在宅自己注射マニュアル作成ワーキンググループ（森明理事）：看護師による在宅自己注射の指導プロトコルの作成活動を報告。
4. 平成24年研究助成審査結果（有森理事）：研究助成審査会での選考結果を報告（申請件数：1件、採択件数：1件）、審査委員：遠藤俊子氏、村上貴美子氏、村本淳子氏の3名。研究テーマ：「不妊症外来における不妊相談の実態調査」  
研究代表者：菅野伸俊。  
これら報告事項に関し、承認された。

### 【審議事項】

1. 平成24年度収支決算ならびに会計監査（清水理事・遠藤監事・岸田監事）の説明がなされ、承認された。
2. 平成25年度事業計画案の説明がなされ、承認された。
3. 平成25年度収支予算案（清水理事）：平成25年度収支予算案の説明がなされ、承認された。
4. 第12回学術集会について（野澤理事長）：第12回学術集会会長として小松原千暁氏（IVF大阪クリニック）の推薦がなされ、承認された。

## ◎平成25年度事業計画◎

- 1) 常任委員会
  - ◆総務（事務局）  
会員管理とHPの運営・管理、関連団体・機関との連絡調整
  - ◆実践開発委員会  
生殖看護に関するコンサルテーション活動とPR不妊症看護認定看護師の継続教育支援活動  
会員の看護職（認定看護師、地方の看護職）活性化に向けたサポートのあり方の検討  
相談員派遣依頼の対応と「相談員派遣マニュアル」作成
  - ◆教育推進委員会  
セミナーの開催・勉強会の支援
  - ◆広報委員会  
ニュースレターの企画・編集および発行  
ニュースレターの電子化に関する調査と検討  
関連学会等でのPR活動（学会リーフレット配布）と入会勧誘
- ◆編集委員会  
学会誌（第11巻第1号）の編集・発行
- ◆将来検討委員会  
研究助成関連の運営・管理および活用方法の検討  
国内外の情報収集と発信  
ケアの質の向上に向けた将来検討委員会の取組みとして勉強会の開催
- 2) 特別委員会
  - ◇看保連対応ワーキンググループ  
看保連への参加と診療報酬改定に向けた要望活動等
  - ◇在宅自己注射マニュアル作成ワーキンググループ  
在宅自己注射指導に関する調査と注射プロトコル案の完成
- 3) 第12回学術集会の開催

## 平成25年度 収支予算書

(平成25年9月1日から平成26年8月31日まで)

日本生殖看護学会

## 一般会計

## 収入の部

(単位：円)

大科目	小科目	予算額	備考
会費収入	年会費	2,400,000	300名×8000円
繰越金	前年度繰越金	1,437,193	
収入合計	収入合計 (A)	3,837,193	

## 支出の部

科目	小科目	予算額	備考
会議費		【650,000】	
	理事会会議費	600,000	
	総会費	50,000	往復はがき代等
事業費		【1,430,000】	
	広報委員会	400,000	ニューズレター発行・看護系大学への広報
	教育推進委員会	130,000	セミナー開催
	実践開発委員会	50,000	相談委員の派遣
	編集委員会	400,000	学会誌発行
	将来検討委員会	250,000	研究支援・研究助成金
事務費	学術集会補助費	200,000	第12回学術集会補助費
		【460,000】	
	人件費	320,000	アルバイト(PC入力・HP管理)
	通信費	40,000	
団体登録料	備品費	30,000	
	消耗品費	70,000	
		【110,000】	
活動費	日本看護系学会協議会	80,000	
	看保連	30,000	
		【100,000】	
	ワーキンググループ活動	100,000	
	予備費等	1,087,193	
	支出合計 (B)	3,837,193	

## 特別会計：研究助成金積立金

(単位円)

小科目	予算額	備考
平成25年度積立金	200,000	一般会計より
平成25年度助成金	200,000	助成2名分予定
前年度までの積立金	449,919	
合計	449,919	

## 各地区で開催する勉強会の支援

教育推進委員会では、会員が主催する各地区の勉強会を支援したいと考えております。初めて企画を担当される方、あるいは自分たちの地区でもぜひ勉強会を開催したいけれどどうしたらよいかわからない…等、お気軽にご相談ください。勉強会を企画されている代表者の方は、開催日時、開催場所、テーマあるいは内容、連絡先（住所、電話番号、FAX番号、メールアドレス）等を下記の連絡先までご連絡下さい。よろしくお願い申し上げます。

【連絡先】 教育推進委員会 担当理事 千葉大学大学院看護学研究科 森 恵美

mori@faculty.chiba-u.ac.jp

電話：043-226-2410 FAX：043-226-2414

## 勉強会等の運営費の助成

生殖看護の実践に関する勉強会を支援するために、勉強会等の運営費を助成します。助成金は企画1件につき1万円です。日本生殖看護学会ホームページに、応募資格や応募方法等が掲載されていますので、ご覧ください。また、助成に関してご意見等がありましたら、上記勉強会支援の連絡先までご連絡ください。

## 第9回生殖看護実践セミナー報告

8月31日、『出生前診断の意思決定に関する看護支援～当事者の葛藤とどう向き合い、意思を支えるか～』のテーマで、第9回生殖看護実践セミナーが開催された。猛暑の中、57名(そのうち、非会員13名)の参加があった。

セミナーでは、有森直子氏(聖路加看護大学教授・日本遺伝看護学会理事長)より、「出生前診断の意思決定に関する看護支援」についてご講演いただいた。出生前診断の最新知識や診断前後の女性や家族の苦悩、意思決定を妨げる要因とともに、オタワ個人意思決定ガイド、決定に関する葛藤尺度(出生前検査用)、知識・情報の伝え方のコツなど意思決定を支える方法についてご紹介いただいた。

グループディスカッションでは、オタワ個人意思決定ガイドは臨床に役立つか、役立てるためにはどのような条件が必要か、出生前診断だけでなく思春期や医療機関の受診前、検査前後、治療前後等の状況で意思決定は必要か否かについて意見交換を行い、全体ディスカッションでは臨床での意思決定支援の実際を踏まえて活発に意見交換が行われた。

以下に、有森氏にご紹介いただいた意思決定支援及び出生前検査に関連したリソースの一部を掲載する。

### 意思決定支援関連

- ・ 聖路加看護大学有森科研ポータルサイト(オタワ個人意思決定ガイド、葛藤尺等)  
<http://narimori2.jpn.org/>
- ・ オタワ大学 意思決定支援のサイト(様々な疾患に対する意思決定支援等)  
<http://decisionaid.ohri.ca/index.html>

### 出生前検査関連

- ・ 出生前に行われる遺伝学的検査および診断に関する見解(2013年6月22日)
- ・ 母体血を用いた新しい出生前遺伝学的検査に関する指針(2013年3月9日)
- ・ 日本医学会「医療における遺伝学的検査・診断に関するガイドライン」(2011年2月)

報告：教育推進委員会



## これから行われる学術集会・研修会情報 (2013年11月～2014年3月)

月	日	学会・研修会名	会場	学会 HP / 運営事務局
2013年 11月	9日～10日	日本周産期メンタルヘルス研究会 (第10回) 「現代女性の妊娠から子育てとメンタルヘルス」	日本赤十字看護大学 広尾キャンパス (東京都渋谷区)	http://pmh.jp/ 日本周産期メンタルヘルス研究会事務局 Email: mental-3@hac.mie.ac.jp FAX:059-231-9049
	15日～16日	日本生殖医学会(第58回) 「生殖医療の未来を見据えて」	神戸国際会議場、 神戸ポートピアホテル (兵庫県神戸市)	http://www.k-svr.net/jsrm58/ 福田商店広告部 学会事業部 E-mail: 58jsrm@adfukuda.jp
12月	6日～7日	日本看護科学学会 (第33回) 「看護の力で社会が変わる」	大阪国際会議場 (大阪市北区)	http://www.c-linkage.co.jp/jans33/ 株式会社コンベンションリンケージ E-mail: jans33@c-linkage.co.jp
2014年 2月	23日	日本生殖心理カウンセリング学会 (第11回)	都市センターホテル (東京都千代田区)	日本生殖医療心理カウンセリング学会事務局 株式会社ヒューマンリプロ・K 内 E-mail: hrepro.k@peach.ocn.ne.jp
3月	22日～23日	日本助産学会 (第28回) 「安心・安全・継続性～女性と家族の未来を長崎から発信する～」	長崎ブリックホール (長崎県長崎市)	http://www.c-linkage.co.jp/jam2014/index.html 株式会社コンベンションリンケージ内 E-mail:jam2014@c-linkage.co.jp

※2013年10月18日現在の情報です。詳細は各学会 HP 等でご確認ください。

## 関東地区勉強会報告

2013年1月29日「性教育の現状と不妊看護の今後の課題～不妊予防の視点から～」をテーマに、順天堂大学助教 西岡笑子氏をお招きしてご講演いただきました。

同氏が研究されている「思春期を対象にした学年積み上げ型性教育プログラム構築」の基礎調査から、学校側は医療従事者からの実際の事例を求めていること、保護者との温度差(いき過ぎた指導という批判)があるということでした。

結果として「継続的な性教育」「知識と行動が結びつけられる指導」のために教諭と外部(警官や医療者)の人員が分担して、その資源を最大限に生かし学年ごとに継続教育していく理想。卵子の老化などの不妊予防を学び、自分自身の妊娠出産育児を人生設計の中に取り入れてほしい等お話しいただきました。

後半ではグループ毎に「看護職として何ができるか」等ディスカッションを行いました。

今後の課題として、医療者にも知識が乏しい方がいること。家族を含めた教育の構築が必要だが、どうアプローチして学校教育を変えるか。という問題が浮き彫りになりました。性教育が不十分なまま大人になった世代が子育てや教育をしているので、新しい方法に積極的になれない背景もあると考えます。

今回のテーマは、生殖年齢を迎える前からの継続した性教育の重要性を実感した勉強会でした。生殖看護の実践範囲がさらに広まったと思います。

講演して下さった西岡氏、出席者の皆さま、ありがとうございました。

猪股恵美子・板井芳美・小林祐子・田村和美・林博子・渡部真理子

## 勉強会開催のお知らせ—関東地区勉強会—

【テーマ】 男性不妊症患者の心理について

～男性不妊症カップルに対してのかかわり方～

【内容】 1. 講演：菅野伸俊先生(ファティリティクリニック東京 看護師長・不妊症看護認定看護師)  
2. グループディスカッション

【日時】 平成25年12月8日(日) 14:00～16:30(受付13:30～)

【場所】 山王病院 3階山王ホール

【連絡先】 井上直子 山王病院リプロダクションセンター E-mail: qquw8tn9k@cocoa.ocn.ne.jp  
返信メールが1週間たっても届かない場合はお電話ください(090-5288-5094 井上)

【参加費】 学会員1000円(非学会員1500円)当日徴収しますのでお釣りのないようにご準備ください

【申し込み方法】 参加希望の方は氏名、所属と職種、ご連絡先を明記の上、上記連絡先までご連絡ください。

もし不妊看護の現場で行き詰まったら…

## 日本生殖看護学会が相談にのります

実際に患者さんと関わっていく中で、「目の前にいる患者さんにどのように対応したらいいのだろうか?」「患者さんとゆっくり話ができる環境を作るためにはどうしたらいいのか?」など、臨床の現場ではシステムや価値観、倫理観などの中で問題やジレンマを感じるがあると思います。

実践開発委員会では、このような様々な問題に直面した時に直接ご相談をお受けし、よりよい不妊看護の方向性を一緒に考えていきたいと考えています。会員の皆様からのご相談をお待ちしています!

なお、詳細は学会ホームページをご覧ください。

## 理事会報告

### 第8回臨時理事会（書面決議）

日時：2013年7月1日(月)

場所：書面による。

出席者：野澤、森明、上澤、岸田、村本、有森、實崎、橋村、森恵、清水、菅野、遠藤

入会審査および看保連の年会費値上げ案について検討

### 第9回理事会

日時：2013年8月2日(金) 18時00分～20時50分

場所：聖路加看護大学 本館5階506室

出席者：野澤、森明、上澤、村本、遠藤、清水、有森、實崎、橋村、菅野、矢野（第11回学術集会長）

主な報告事項：第11回学術集会進捗状況、研究助成金の採択結果、看保連による要望書「不妊カウンセリング料の新設」、認定看護師対象の活動実態調査結果

主な審議事項：入会審査、学会誌への論文投稿促進方法。24年度収支決算および25年度収支予算。会員

増のための対策。将来検討委員会主催勉強会の検討。患者団体からの後援依頼と社会貢献活動としての相談員派遣およびマニュアル。平成25年総会要綱と進行

### 第10回理事会

日時：2013年8月31日(土) 18時00分～20時30分

場所：ホテル京都エミナース本館3階 銀閣

出席者：野澤、森明、森恵、岸田、上澤、村本、遠藤、清水、有森、實崎、橋村、菅野、矢野（第11回学術集会長）、崎山（オブザーバー）

主な報告事項：ニュースレターの電子化に関する会員への意向調査、第9回生殖看護実践セミナー、相談員派遣マニュアル、平成24年度会計監査報告、第11回学術集会準備

主な審議事項：入会審査、平成25年総会要綱案、平成25年度予算案

## 掲示板

### <聖路加看護大学看護実践開発研究センターからのお知らせ> 不妊症看護認定看護師教育課程の研修生募集（二次募集）

2014年度の不妊症看護認定看護師教育課程の研修生を募集いたします。

〔願書受付期間〕2014年1月20日(月)～2014年1月31日(金) 消印有効

〔試験日〕2014年3月1日(土)

〔研修期間〕2014年6月1日～2015年2月28日（9ヶ月間）

\*毎週金曜日と土曜日の週2日の開講です。ただし、8月末から9月末の約5週間は平日連日の集中授業、11月から12月の約4週間は平日連日の実習があります。

また、2013年度の聴講生も募集しております。

研修生および聴講生の募集の詳細な要項は本学ホームページ

(<http://rcdnp.slcn.ac.jp/nintei>)にてお知らせします。

## 研究を論文を学会誌に投稿してみませんか？

～あなたは過去に行った研究をそのまま眠らせていませんか？～

あなたが行った研究を論文として形にすることは、生殖看護に携わる看護職に知識を与え、看護の質を高めることにつながります。そして、研究に協力くださった方に対して、本当の意味で感謝の気持ちを示すことでもあります。

査読が厳しいのでは…と思われるかもしれませんが、それは査読が研究指導とは異なる側面をもつためです。査読者の助言を受けることは質の高い論文を作成するために不可欠な過程であり、投稿者にとっては研究内容を向上させる機会を得られることであるといえます。

看護実践と看護研究は、乖離するものでは決してありません。自分の看護実践能力を向上させるためにも、この秋、論文投稿にチャレンジしてみませんか？

**第11巻第1号学会誌の投稿締め切りは、平成25年11月29日です**

\*投稿の詳細は、学会誌やHPに掲載する「論文投稿規定」をご確認ください。

### 事務局からのお知らせ

1. 日本生殖看護学会への問い合わせ、会員に伝えたい情報、ニュースレターに関するご意見・ご希望等ありましたら、E-mailもしくはFaxで、気軽にご連絡ください。
2. 学会の年会費は8,000円です。会費納入は、できるだけお早めに、金額をお間違えなく、お願い申し上げます。
3. 異動・転居された方は必ず事務局までご連絡願います。ニュースレター、学会誌の送付はメール便を使用しているため、郵便と異なり、転送されません。
4. 会員数328名（平成25年8月19日現在）です。学会の活性化を一層はかるため、生殖看護に関心のある、お知り合いの方にぜひ入会をお誘いください。入会案内および入会申込書は学会ホームページからダウンロードできます。
5. 日本生殖看護学会ホームページ <http://jsin.umin.jp> についてお気づきの点がありましたら事務局までお知らせください。今後も適宜更新していきますので、ぜひ新しい情報をご活用ください。

### お詫びと訂正

ニュースレター第35号(p6)の掲載記事に誤りがありました。「日本周産期メンタルヘルス研究会(第10回)」の開催日は、11月9日～10日です。お詫びして訂正いたします。

### 次号の原稿締切日

ニュースレター第37号の原稿締切日は、2014年1月27日(月)です。学会等への参加報告や勉強会開催のお知らせなど、会員の皆様への周知の場としてご活用ください。

#### 編集後記

“暑さ寒さも彼岸まで”と言いますが、今年は10月に入っても各地で過去に類を見ない天候が続いています。会員の皆さまの所属施設内外での活動や日常生活に支障が出ていないことを願ってやみません。もしも悪天候で自宅や職場に缶詰状態になってしまったら、それは論文の投稿や進学を考える良い機会なのかも・・・。

広報委員：上澤悦子、實崎美奈

#### 日本生殖看護学会

Japanese Society of Fertility Nursing: JSFN

〒104-0044 東京都中央区明石町10-1  
聖路加看護大学内

TEL & FAX 03-5550-2293

E-mail: [jsin@slcn.ac.jp](mailto:jsin@slcn.ac.jp)

ホームページ <http://jsin.umin.jp>